

2021.8.21 将棋講座 第5回

～どっちが有利？～ 形勢判断

●形勢判断は大事

将棋において形勢判断は大事です。有利なら有利な場合の考え方があり、不利なら不利な場合の考え方があるからです。この形勢判断が間違っていると指し手も間違えるということ。

●駒の価値

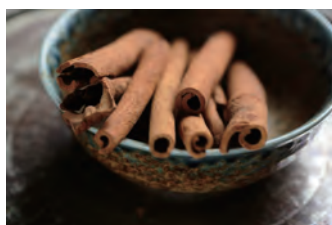
まずは形勢判断の前に駒の価値について勉強しておきましょう。将棋には王、飛、角、金、銀、桂、香、歩の8種類の駒があります。それぞれの駒の価値について考えてみます。

駒の価値は駒の大きさ順になっています。玉（王）、飛車、角、金、銀、桂、香、歩。



●雑学

玉金銀桂香というのはいずれも宝物を表す言葉です。玉というのは最も貴重な宝石の名に由来していました。「金」と「銀」は今でも貴重な宝石ですね。「桂」は肉桂（シナモン）であり、良い香りのする木のことです。「香」は香料（良い香りの液体）のことです。



シナモン



これもシナモン

『銀（しろがね）も黄金（くがね）も玉（たま）も何せむに
優れる宝 子に如（し）かめやも』『万葉集』
山上憶良の歌です。意味は、『金や銀や宝石なんて何の役に
立つのでしょうか。それよりすぐれた宝としては、自分の子に
かなうものはありません』

●玉将と王将があるのはなぜ？

元々は「玉将」だけしかなかったが、「玉」から点を取ったものが「王将」になったという説が有力のようです。ではなぜ「王将」が生まれたのかというと、これも諸説あるようで、「玉」と「王」が似ているから片方を「王」にしたという説や、豊臣秀吉が「王でないといに入らん」「王は一人いれば良い」と言って一方の「玉」の点を取ったなどという説もあるようです。





古代エジプトのチャリオット（戦闘用馬車）



中国でも今でも使われている牛車



竹韻精舎薬王山龍王寺のご神体の十大神龍王

「飛車」と「角行」これらは、戦争に使われた武器とされています。「飛車」は馬車、「角行」は牛車（ぎっしゃ）。この馬車と牛車は、それぞれ今でいうところの戦車です。

飛車の成駒の龍王、角の成駒の龍馬は伝説の動物です。



頭が龍で体が馬の生き物。または蹄を持った龍で麒麟と龍の子供だとも言われています。

●正確な形勢判断～点数計算

より正確な形勢判断法として谷川九段が考案された点数計算があります。これは駒の価値を点数であらわしたものです。ちょっと大変ですが暗記してしまいましょう。正確な形勢判断ができるようになります。

駒の点数評価表					
飛 10点	→	龍 12点	角 8点	→	馬 10点
金 6点			銀 5点	→	成銀 6点
桂 4点	→	成桂 6点	香 3点	→	成香 6点
歩 1点	→	と 7点			

●例外要素

二枚替えなら歩ともせよ
歩切れ

大駒の数

●形勢判断をしてみよう

香	桂	金	玉	金	銀	桂	香
飛				銀	角		
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩
					歩		
							角
		歩					
歩	歩	飛	歩	歩	歩	歩	歩
	銀						
香	桂		金	玉	金	銀	桂

▲ 歩二

香	桂	金	玉	金	銀	桂	香
飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩
	銀						
香	桂		金	玉	金	銀	桂

▲ 人銀歩

馬	桂	銀	玉	金	銀	桂	香
		金					
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
				角			
		歩					
歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩
	金						
香	桂		玉	金		銀	桂

▲ 飛香歩四

香	桂	金	玉	金	銀	桂	香
飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		歩		銀	銀	飛	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		銀	歩				
		金	玉	金			
香	桂						香

▲ 藤井聡 角銀歩三

●形勢判断をするタイミング

1手ごとに形勢判断する必要はありません。慣れないうちは一局のうちに3回だけでいいです。一回目は仕掛けの直前。二回目はさばきあった局面。三回目は寄せに行く前など。

実はもっと簡単な形勢判断法がある～続きは次回！